

PRAEVIDENTIA DAILY (11月10日)

昨日までの世界：米雇用統計の僅かな下振れでドル全面安

先週金曜は、米10月分雇用統計に向けてドルじり高の展開だったが、実際の発表では、非農業部門雇用者数の伸びが+21.4万人と市場予想を若干下回ったことから、米中長期債利回りの低下と共にドルが対主要通貨で全面的に下落し、ドル/円も115円台前半から一時114.23円へ反落、引けにかけては114円台半ばへ小反発した。ドル/円は前日に続き115円丁度上抜けを2回トライして失敗したかたちとなっているが、前日の安値(114円丁度手前)は下回っておらず、上昇基調は維持している。また、米雇用統計の内容は悪くなく、非農業部門雇用者数は月間20万人超の雇用増ペースを維持したほか、過去2か月分が合計3.1万人分上方修正され、かつ失業率も予想外に5.8%へ低下した。敢えて言えば時間当たり平均賃金が前月比+0.1%と市場予想を下回ったが、全体として、FOMCの雇用市場の改善継続という認識を変えるものではないだろう。

この間、同時に発表されたカナダ雇用統計は非常によい内容で、雇用者数増が+4.31万人と予想外の増加となり、失業率は前月および市場予想の6.8%から一気に6.5%へ低下したことから、弱い米雇用統計を受けた米ドル安と合わせ、米ドル/カナダドル相場は1%近く下落(カナダドル高)した。

なお、当社が注目していたランド/円は、小幅下落した。通常は非農業部門雇用者数が予想比悪化した際、ドルの下落が対円よりも対ランドの方が大きくなることから、ランド/円は上昇する傾向があったが、今回は、ドル/ランドの下落が小さく、発表前に上昇していた分を帳消しにする程度だったことから前日比で横ばいとなり、ドル/円の下落に引っ張られたかたちだ。

主要通貨ペアの前営業日比変化率と、連動性が高い金利・株価・商品市況の変化

	変化率	米2年金利差	米2年金利	日2年金利	米日10年金利差	米10年金利	日10年金利	米株価	日株価	原油WTI	原油Brent
ドル/円	-0.6	-0.04	-0.04	+0.00	-0.07	-0.06	+0.01	+0.0	+0.5	+1.1	+0.6
	変化率	独米2年金利差	独2年金利	米2年金利	独米10年金利差	独10年金利	米10年金利	欧株価	米株価	原油Brent	西伊の対独株価
ユーロ/ドル	+0.6	+0.04	-0.00	-0.04	+0.06	-0.01	-0.06	-1.0	+0.0	+0.6	+0.01
	変化率	英米2年金利差	英2年金利	米2年金利	英米10年金利差	英10年金利	米10年金利	英株価	米株価		
ポンド/ドル	+0.3	+0.01	-0.03	-0.04	+0.03	-0.03	-0.06	+0.2	+0.0		
	変化率	豪米2年金利差	豪2年金利	米2年金利	豪米10年金利差	豪10年金利	米10年金利	米株価	中国株価	CRB	
豪ドル/米ドル	+0.9	+0.11	+0.07	-0.04	+0.18	+0.11	-0.06	+0.0	-0.3	+0.6	
	変化率	NZ米2年金利差	NZ2年金利	米2年金利	NZ米10年金利差	NZ10年金利	米10年金利	米株価	中国株価	CRB	
NZドル/米ドル	+0.8	+0.07	+0.03	-0.04	+0.10	+0.04	-0.06	+0.0	-0.3	+0.6	
	変化率	米加2年金利差	米2年金利	加2年金利	米加10年金利差	米10年金利	加10年金利	米株価	原油WTI	CRB	
米ドル/加ドル	-0.8	-0.03	-0.04	-0.01	-0.00	-0.06	-0.06	+0.0	+1.1	+0.6	

(注)為替相場、株価および商品価格は前営業日比変化率、金利は前営業日比変化幅(%ポイント)。
(出所)トムソン・ロイター、プレビデンティア・ストラテジー

主要通貨ペアの前週比変化率と、連動性が高い金利・株価・商品市況の変化(先週1週間)

	変化率	米日2年金利差	米2年金利	日2年金利	米日10年金利差	米10年金利	日10年金利	米株価	日株価	原油WTI	原油Brent
ドル/円	+2.0	+0.01	+0.01	-0.00	-0.04	-0.02	+0.01	+0.7	+2.8	-2.3	-1.1
	変化率	独米2年金利差	独2年金利	米2年金利	独米10年金利差	独10年金利	米10年金利	欧株価	米株価	原油Brent	西伊の対独株価
ユーロ/ドル	-0.6	-0.01	-0.00	+0.01	+0.00	-0.02	-0.02	-1.1	+0.7	-1.1	+0.05
	変化率	豪米2年金利差	豪2年金利	米2年金利	豪米10年金利差	豪10年金利	米10年金利	世界株価	米株価	中国株価	CRB
豪ドル/米ドル	-1.8	+0.02	+0.03	+0.01	+0.09	+0.07	-0.02	-0.4	+0.7	-0.1	-0.5
	変化率	NZ米2年金利差	NZ2年金利	米2年金利	NZ米10年金利差	NZ10年金利	米10年金利	世界株価	米株価	中国株価	CRB
NZドル/米ドル	-0.4	+0.02	+0.03	+0.01	+0.09	+0.06	-0.02	-0.4	+0.7	-0.1	-0.5
	変化率	英米2年金利差	英2年金利	米2年金利	英米10年金利差	英10年金利	米10年金利	英株価	米株価		
ポンド/ドル	-0.8	-0.01	-0.00	+0.01	-0.01	-0.04	-0.02	+0.3	+0.7		
	変化率	米加2年金利差	米2年金利	加2年金利	米加10年金利差	米10年金利	加10年金利	世界株価	米株価	原油WTI	CRB
米ドル/加ドル	+0.5	+0.01	+0.01	-0.01	-0.00	-0.02	-0.02	-0.4	+0.7	-2.3	-0.5

(注)為替相場、株価および商品価格は前週比変化率、金利は前週比変化幅(%ポイント)。
(出所)トムソン・ロイター、プレビデンティア・ストラテジー

今回の米雇用統計発表後の主要通貨ペアの前日比変動率(平均値、NY引け値ベース)

	ZAR/JPY	NZD/USD	EUR/USD	AUD/USD	GBP/USD	NZD/JPY	EUR/JPY	AUD/JPY	GBP/JPY	USD/CAD	USD/JPY	CAD/JPY	USD/ZAR
NFP下振れ (13年以降平均)	+0.73	+0.44	+0.35	+0.29	+0.29	+0.18	+0.15	+0.07	+0.07	-0.05	-0.20	-0.24	-0.85
今回10月分	-0.58	+0.79	+0.64	+0.88	+0.27	+0.19	+0.10	+0.30	-0.29	-0.83	-0.58	+0.27	-0.00

(出所)プレビデンティア・ストラテジー作成

きょうの高慢な偏見：雇用統計は再評価されるか？

きょうの注目通貨：USD/JPY ↑

きょうの指標、イベント	時刻	前期	市場予想	備考
中国 10 月新規人民元建て融資・元	9 : 01	8572 億	6500 億	前年は 5061 億元
豪 9 月住宅ローン前月比	9 : 30	-0.9%	-1.0%	
中国 10 月 CPI 前年比	10 : 30	+1.6%	+1.6%	今年の政府目標は 3.5%
経団連会長会見	15 : 30			円安に対する発言に注目
Fischer・FRB 副議長発言	0 : 30			ややハト派、投票権あり
Rosengren ポストン連銀総裁発言	7 : 10			ハト派、来年も投票権なし

(出所) トムソン・ロイター等を基にプレビデンティア・ストラテジー作成

本日は、ドル/円については直接的な材料が少なく、先週金曜の米雇用統計結果の消化が続きそうだ。非農業部門雇用者数の下振れは非常に小さく誤差の範囲ともいえる一方、過去分の上方修正や失業率低下など総合的にみれば良好な結果といえ、発表後の米中長期債利回りの低下とドル下落は行き過ぎとみられる。このため、ファンダメンタルズ面からは、ドル押し目買いが入り易いとみられる。ドル/円は再び 115 円台を目指す展開になるかどうか注目だ。

中国新規貸出と CPI については、特に CPI が予想比下振れると、リーマンショック後の 2009 年末以来の低インフレとなることから、中国のデフレーション懸念が強まり、豪ドルなどの下押し要因となるほか、ドル/円の上値抑制要因にもなりそうだ。

ディスクレイマー

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、全てお客様ご自身でご判断下さいますようお願い申し上げます。
当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。
当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。当資料は購読者向けに送付されたものであり、購読者以外への転送を禁じます。

プレビデンティア・ストラテジー株式会社
金融商品取引業者(投資助言・代理業)関東財務局長(金商)第 2733 号
一般社団法人 日本投資顧問業協会 会員番号 012-02641